



安全管理委員会からの耳より情報 VOL7



「カリウム製剤投与間違い撲滅キャンペーン」 あなたの施設で何か取り組みされましたか？

カリウム製剤投与間違いの撲滅にむけて、あなたの施設のリスクを見出し、行動をはじめましょう！

カリウム製剤の投与間違いの撲滅には、一律の方策でなく、自施設で提供する医療の特徴や体制の違いに応じた対策を検討し、講じることが必要です。施設ごとのリスクを自己点検により見出し、解決しなければ、投与間違いはなくなりません。今一度、どうしたら投与間違いを防げるかについて考え、組織を挙げて行動しましょう。—日本看護協会—

あなたの施設では高濃度カリウム製剤は、危険な薬剤と認識されていますか？
点検・改善内容を紹介します。

- ★自施設の高濃度カリウム製剤の種類について確認する。
- ★病棟や外来から高濃度カリウム製剤の定数保管を廃止し、薬剤部保管とする。
- ★自施設の高濃度カリウム製剤の種類について、医師、看護師へ周知する。
ポスターなど作製し掲示する。教育プログラムに入れる。
- ★高濃度カリウム製剤を薬剤部より払い出す場合は、希釈の必要性が誰でもわかるように注意喚起表示カードを添付する。
- ★高濃度カリウム製剤はシリンジポンプを使用して投与する方法は危険な為、施設内でシリンジポンプは使用しない取り決めを作る。
- ★高濃度カリウム製剤は生食等で希釈し、輸液ポンプを使用して投与する。
- ★高濃度カリウム製剤のアンプル製剤は危険な為、プレフィルドシリンジタイプのキットに変更する
- ★薬剤師常駐ではない施設では、時間外に医師、看護師が高濃度カリウム製剤を準備する時の危機管理として、保管場所に注意喚起表示をする。

〔出典・参考資料〕

- ・「カリウム製剤投与間違い撲滅キャンペーン」特設サイト 日本看護協会ホームページ
- ・薬剤有害事象の軽減・再発防止提言についてのQ&A 医療安全全国共同行動
(高濃度カリウム注射製剤の有害事象(誤投与を含む)対策強化の提言)